

平成 28 年 12 月 26 日

都市局 都市計画課

外出する人が調査開始以来最低に

～平成 27 年度全国都市交通特性調査（速報版）の公表について～

「全国都市交通特性調査」では、人々がどのような目的で、どのような交通手段を利用して移動しているかなど都市における人の動きを概ね 5 年に 1 度調査しています。

平成 27 年度に実施した調査では、調査日に外出した人の割合や一日に移動した回数のいずれも昭和 62 年の調査開始以来最低の値となったことや三大都市圏では公共交通の利用率が増加していることなどが分かりました。

1. 調査結果概要

(1) 都市における人の動きについて

図 1 のように、調査日に外出した人の割合は、平日で 80.9%、休日で 59.9%と本調査を開始した昭和 62 年から最低の値となりました。また、図 2 のように、一日の移動回数も、平日で 2.17 回、休日で 1.68 回とこちらも調査開始以来最低の値となりました。

移動回数が減少している要因としては、移動回数の少ない高齢者の人口が増えたことやかつては移動回数が多かった若者も移動回数が減少していることが考えられます。特に、図 3 のように、20 代の移動回数は 1.43 回と減少しており、今回の調査結果では 70 代の移動回数 1.60 回を下回りました。また、割合が増加している非就業者について着目すると、図 4 のように、就業者よりも外出が少なく、減少幅も大きいことが分かります。

(2) 交通手段の利用について

図 7, 図 8 のように、三大都市圏では、公共交通の利用率が増加している一方、自動車の利用率は減少しています。地方都市圏では、自動車の利用率が増加している一方、公共交通の利用率はほぼ横ばいの傾向を示しています。

2. 今後の分析予定

今後は、今回お知らせした調査の結果の具体的な要因等について、さらなる分析を進め、個人属性や世帯構成、居住地特性等と交通手段利用状況との関係、コンパクトシティの推進に向けた中心市街地と交通特性の関連性等に関する分析等を行う予定です。

(参考) 調査の概要

○調査実施状況：昭和 62 年、平成 4 年、平成 11 年、平成 17 年、平成 22 年、平成 27 年の計 6 回

○対象都市数：全国 70 都市（1 都市当たり 500 世帯回収目標）

○調査方法：郵送配布・郵送または WEB 回収（回答回収 43,700 世帯）

【問い合わせ先】

国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 課長補佐 井上 直

電話：03-5253-8111（内線：32672） 直通：03-5253-8411 FAX：03-5253-1590